

Mizuho Daily Market Report

2024/8/8

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	146.69	146.68	+2.34	▲3.30
EUR	1.0921	1.0922	▲0.0009	+0.0096
AUD	0.6547	0.6519	▲0.0001	▲0.0023
SGD	1.3271	1.3277	+0.0023	▲0.0083
CNY	7.1847	7.1766	+0.0208	▲0.0501
MYR	4.4919	4.4980	+0.0232	▲0.0925
THB	35.59	35.67	+0.14	+0.02
IDR	16035	16035	▲130	▲225
PHP	57.54	57.54	▲0.29	▲0.83
INR	83.96	83.95	▲0.00	+0.22
VND	25164	25166	+31	▲98

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.943%	+5.1 bp	▲8.7 bp
日本(10年)	0.897%	▲0.4 bp	▲15.9 bp
ユーロ圏(10年)	2.268%	+6.7 bp	▲3.6 bp
オーストラリア(5年)	3.722%	+4.8 bp	▲5.5 bp
シンガポール(5年)	2.783%	+11.2 bp	▲2.1 bp
中国(5年)	1.832%	▲1.5 bp	▲3.3 bp
マレーシア(5年)	3.504%	+1.9 bp	▲2.1 bp
タイ(5年)	2.284%	+0.6 bp	▲5.7 bp
インドネシア(5年)	6.677%	+0.1 bp	▲5.4 bp
フィリピン(5年)	6.018%	▲0.5 bp	▲1.1 bp
インド(5年)	6.801%	▲1.6 bp	▲4.7 bp
ベトナム(5年)	2.100%	+0.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,763.45	▲0.6%	▲5.1%
N225(日本)	35,089.62	+1.2%	▲10.3%
STOXX50(ユーロ圏)	4,668.06	+2.0%	▲4.2%
ASX(オーストラリア)	4,462.58	+1.6%	▲2.7%
FTSE(シンガポール)	3,249.72	+1.6%	▲6.0%
SSEC(中国)	2,869.83	+0.1%	▲2.3%
SENSEX(インド)	79,468.01	+1.1%	▲2.8%
JKSE(インドネシア)	7,212.13	+1.2%	▲0.6%
KLSE(マレーシア)	1,591.87	+1.1%	▲2.1%
PSE(フィリピン)	6,535.17	+1.6%	▲1.3%
SETI(タイ)	1,290.55	+1.3%	▲2.3%
VNINDEX(ベトナム)	1,215.88	+0.5%	▲2.8%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	273.70	+1.3%	▲1.6%
金	2,382.92	▲0.3%	▲2.6%
原油(WTI)	75.23	+2.8%	▲3.4%
銅	8,640.93	▲1.9%	▲5.1%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	144.60	—	146.80
EUR/USD	1.0850	—	1.0990
AUD/USD	0.6385	—	0.6580
USD/SGD	1.3160	—	1.3380
USD/CNY	7.1260	—	7.1790
USD/INR	4.4300	—	4.5030
USD/THB	35.00	—	36.65
USD/IDR	16000	—	16350
USD/PHP	57.40	—	58.70
USD/INR	83.00	—	84.10
USD/VND	24,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は144円台後半でオープン。金融経済懇談会にて内田日銀副総裁が「金融資本市場が不安定な状況で利上げすることはない」と発言するなどハト派的な内容を受けてドル円は急伸し、一時147円台半ばを付けた。一服後も株価上昇を受けじり高で推移し147円台後半まで値を伸ばすも、その後は反落。146円台後半まで値を戻して海外時間に渡った。アジア通貨は概ね軟調な値動き。ドル売りの流れに一服感がみられる中、対ドルで軟調な値動きとなった。タイでは7月CPIが発表され前月からインフレ率が上昇したが依然として中銀の目標とする1-3%を下回る水準。

欧州時間のドル円は円高が優勢な展開となり146円台前半まで下落したが、欧州株が堅調に推移したことを受け円安に転じ147円台半ばまで上昇し米州時間入り。米州時間午前中は再度146円台まで値を下げる場面もあったが、その後は米株高や米金利の上昇が支えとなり、147円台後半まで反発する。米州時間午後に発表された米10年債の入札は低調な結果となるも、ドル円は反応薄。その後はじり安で推移し、147円台を割り込み、146後半でクローズ。

【金利】

昨日の米金利は上昇。10年債入札が低調となったことを受け債券価格が下落、利回りは上昇した。金融市場の混乱が落ち着きつつあることも利回り低下の背景にある。

【予想】

本日のドル円は上値重い展開を予想。昨日の内田副総裁の発言を受け一旦、市場は円高圧力が弱まったとみられるものの、再度円キャリートレードを構築するには時期尚早か。むしろ今朝発表された日銀会合の主な意見では「経済・物価の反応確認しつつ適時かつ段階的に利上げ必要」とされており、再度円高圧力が強まる可能性に注意したい。

【本日の予定】

(日本) 6月 国際収支:経常収支
(日本) 7月 景気ウォッチャー調査
(日本) 7月 東京オフィス空室率
(日本) 7月 銀行貸出動向
(日本) 国債入札(30Y)
(日本) 日銀 主な意見
(アジア) 2Q フィリピン GDP
(アジア) 3Q NZ 2年インフレ予想
(アジア) 7月 インドネシア 消費者信頼感指数
(アジア) 7月 豪 外貨準備高
(アジア) インド 金融政策会合
(アジア) 豪 ブロックRBA総裁講演
(欧州) 6月 独 鉱工業生産
(欧州) 7月 愛 CPI
(欧州) 7月 英 RICS住宅価格
(米国) 6月 卸売在庫(確) / 卸売売上高
(米国) 国債入札(30Y)
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。